

目 次

不夜城と図書館
新しい大学図書館の役割
図書館への淡い期待あれこれ
シリーズ：所蔵資料紹介
（鳥取藩主池田吉泰書状）
本学教官著作寄贈図書
ホームページからの図書購入・複写の依頼
利用状況
ミニシリーズ・情報検索コーナー その11
（SweetScan 始めました。）
平成12年度日本紹介コーナー図書について
平成12年度中小コレクションの紹介

不夜城と図書館

道上正規

鳥取市で最も賑わいがあり、活気のあるところはどこかご存知ですか。勿論いろいろな見方がありますが、市街地中心の弥生町ではありません。これを測る指標に、夜の町の明るさがあります。今一番明るいのは、旧9号線の市内の西側です。これは空から見ればよく分かります。千代川の左岸から鳥大周辺の旧9号線沿いは、真夜中でも電気がこうこうとついています。明るさは一種の文明度を表しますから、現在最も文明度が高く、活気のある地域はこの鳥大周辺と言えるでしょう。これは、鳥大生や鳥大の関係者がこの周辺に住んでいるからです。鳥大のキャンパスの電気もまたその明るさに貢献しています。大学は、期末試験のころや卒論シーズンともなれば、不夜城のようです。

私は、今から丁度27年前の1974年から1年間、カナダのエドモントンにあるアルバータ大学で、ポスト・ドクトラルフェローとして働きました。ここでも試験シーズンともなれば、学内は真夜中でも学生であふれ、キャンパスの電気はこうこうとついています。一晩中電気がついているのは図書館です。キャンパスには、記念図書館という名前の

ついた図書館が3つ4つありました。それらが試験シーズンともなれば、徹夜で開館していますから、まさに不夜城です。

不夜城といえば、思い出しますが、エドモントンは緯度が北緯53度と高いので、6月ごろは11時ころまで明るく白夜のようでした。当時、私は幼児を二人連れて出稼ぎに出ていました。夜が明るいので、子供たちが夜更かしをして、なかなか寝つかないので困りました。いいこともありました。日が長いので、6時に学校から帰って近くの公園に近所の家族とバーベキューに行き、その後そこでよくゴルフをしました。プレー費が確か3ドルぐらいだったように記憶していますので、それを当時の日本円に換算すると、1000円ぐらいでした。もちろん、セルフでプレーをするのですが、毎日のようにラウンドするので、腕が上がり、帰国して日本でゴルフコンペに出たときは無敵でした。ただし、学校仲間の範囲ですが。

冬になると、このエドモントンは一変します。通



学の朝の8時半といえば真っ暗です。昼頃になってやっと明るくなり、もう3時ごろには薄暗くなって、学校から帰る5時過ぎには真っ暗です。寒く、薄暗いエドモントンの冬の楽しみといえば、コンサート、家庭パーティ、それに図書館で本を読むくらいです。もちろん、スキーの好きな人はスキーもできますが、それはクロスカンリースキーが主です。このような体験をいろいろしましたが、パーティに招待されたとき、カナダ人に言われました。「ドクター道上、おまえのジェスチャーは大きいですね。」大体日本人は、会話のときジェスチャーが控えめであるといわれているが、この時は英語能力が低いので、会話の仲間に入って自分の意見を言い、仲間に認めてもらうためには、言葉よりも身振り手振りで自分の意思を伝えなければならなかったのでしょう。

ある冬の夜だったと思いますが、となりの夫婦と私の家で会話を楽しんでいたとき、日本の自動車の話が出てきました。当時は、日本の車は安かろう悪かろうに近い状態でしたが、カナダへの輸出台数が議論に上りました。それがよくわからなかったので、隣の奥さんと大学の図書館に調べに行きました。彼女は、心理学を専攻していた修士課程の学生でした。年のころは私よりも4、5歳上でしたが、家庭に余裕ができたため、大学に通っているのだといってい

ました。何かがあると、このようにすぐ図書館に行って、調べる習慣がついています。図書館が人々の手軽な記憶装置のように機能していました。

最近では、日本でも図書館の整備が進み、その蔵書数が文明度のバロメータになっているといわれています。東京周辺にできたニュータウンでは、何かアイデンティティを出そうと、人口あたりの蔵書数を高めようとしていた町があったように記憶しています。巷でこのような状況ですから、大学では蔵書数は大学の質を表す重要な指標です。わが大学がどのような状況であるか、図書館長に聞いてはいないが、あまり芳しくないのではないかと心配しています。

しかし、図書館は、蔵書数だけが問題ではなく、学生諸君が学習の場として、それを活用して、授業の理解度を高めるのに使われると同時に、現代のいろいろな人や過去の人たちと対話のできる場であるような気がしています。時には、そこは知的な安らぎをかもし出したり、エキサイティングな知的な場になることもあります。したがって、大学の知的広場として、大学人の英知を集めて、鳥取大学らしい、すばらしい図書館を創造していかなければならないと考えています。皆さんからの建設的な意見をお待ちしています。

(学長)

新しい大学図書館の役割

作野友康

附属図書館(以下図書館という)のことについて何か書くようにと高阪館長から依頼されましたので、私の図書館について感じていること、期待することを書かせていただきました。7月に入って図書館の前周辺にずらりと自転車と並んでいました。特に夕方にはその列が二重、三重になっていてびっくりしたがこれは学生諸君が図書館を利用するために置いているものです。それは、この時期が前期末のテスト期間中であり、またレポート提出を求められ

ているから、その勉強をするためだったのでしょう。日頃はこんなに学生諸君の図書館利用はないでしょうが、今年は特に厳しい暑さ続きであったため涼を求めて図書館へ入ったとも考えられます。しかしながら、いずれの理由にせよ多くの学生諸君に図書館が利用されるということは、図書館として喜ばしいことだと思います。

学生が本を読まない、活字離れがますます激しくなると一般に言われていますし、私もそう感じてい

まず、その学生諸君が図書館に入ることは、少しでも多くの活字を読むことにつながるものと期待したいと思います。たとえその多くが試験期間中だけでも、彼等が安心して勉強に取り組める場所を提供する図書館の役割があるし、何らかの形で活字を読むことになるでしょう。

高阪館長が前号 (April 2001) の就任挨拶に書かれていますように、「図書館はもちろん図書館であると同時に情報の館」であることは言うまでもありません。さらに私は図書館が「勉学のサロン」であると言いたいのです。「サロン」などと言えば、図書館は遊ぶ所、あるいはおしゃべりをする所のようには思われますが、まさに国語辞典によればサロンは「談話室」あるいは「集合の場所」とあります。図書館が勉学の語らいをする場所となり、勉学をする者が集う場所であり、情報との出会いの場であり、情報収集の館であるという雰囲気があればいいと思います。図書館の全面増改築計画があるようですが、その機会には一層このような雰囲気が強くなるようにしていただくことを期待しています。学外からも気軽に利用できる公共図書館を目指すことも館長が表明されていますが、その場合には一層、このような雰囲気になることが望ましいと思います。ただし公共的でオープン感覚になりますと、館内の管理体制の充実が不可欠となり、人的配置などむずかしい問題も含んでいますのでこれらをクリアーすることが重要でありましょう。

さて、情報の館としての役割は個人が情報収集のできる場所であると同時に、情報発信の場としての役割をはたすことも重要でありましょう。学内へはもちろんですが、学外に向けての情報発信を大いにしなければならぬと思います。現在もいろいろ行

われていることですが、IT技術によるものだけでなく、例えば好評を博した鳥取大学の歴史資料展示のように、所蔵されている貴重な資料の展示や定期的な文化セミナーの開催なども必要だと思えます。地域共同研究センターで定期的に行われているサイエンスアカデミーに対応した、例えば「カルチャーサロン」といった人文社会系を中心としたセミナーの開催などが考えられます。このような催しをすることによって、学外の方も気軽に大学図書館にいられて、利用されるきっかけになると思えます。

次に、国際化に向けての対応がますます必要になってくると思います。学術的な面からは英語が絶対的に必要な言語となっていることは言うまでもありませんが、そのため、種々の文書の英訳と和訳が求められています。そこでその和英訳機（できているかどうかわかりませんが）が設置されていて、対訳が自由にできるようになればいいのではないのでしょうか。また、図書館の中に国際交流コーナーを設置して、留学生が日本の情報を、日本の学生が各国の情報を幅広く得られるようにしておくことが望まれますので、留学生係、国際交流係との連携のもとに検討していただきたいものです。また、附設の国際資料コーナーを設置して世界各国の民芸資料などが保管されれば博物館的效果も期待されます。

これらのことを考えますと結局、図書館は今後、「総合学習センター」とか「総合図書・学術情報センター」といった名称にした方がいいのではないのでしょうか。

まともにもなく、勝手なことを書きましたが図書館がほんとうに、学生、教職員そして学外の方にもより利用されるようになることを願って止みません。
(農学部教授 森林科学)



図書館への淡い期待あれこれ

大西善元

初めて中央図書館との関わりをある程度もつことになったのは、一昨年度図書館蔵書計画専門委員会委員長を仰せつかったときからだと思う。それまでの私は、中央図書館の利用と言えば、時々新聞を読みに行く程度だったからである。と言うのも、我々は基本的には学科レベルあるいは研究室レベルに必要な書籍類は購入し、また、可能な限りそれらは身近に揃えるように努めている（あるいは、そのような習性をもつに至ってしまった？）からだと言える。恐らく、これが工学部では一般的な状況ではないかと思っている。したがって、中央図書館の役割については、知と情報の宝庫、集積どころとして地域社会に開かれたアカデミックサイトたるべしというような一般に論じられている理念の具現化は当然のことながら、身近においても具体的にどのような役割をどのように果たすべきかについては真剣に考えたこともなくまた関心もあまりなかったのである。今でも、この附属図書館報で意見が述べられるほどの関心をもつに至っていないのが実状ではあるが、しかし、大学を取り巻く環境が大きく変化しつつある現在、いろいろな面から学科および研究室の運営並びに教育・研究のあり方を見直さねばならない状況に追い込まれており、否応なしに図書館をはじめとして各部局の動向に多少は関心を向けざるを得ない状況となっている。

このような状況の中で、時折、他学科、他学部はもちろんのこと中央図書館との関係および相互の役割について思いを馳せ、また、淡い期待をよせることがある。図書館との関係において、その一つが学術雑誌の件、つまり、外国における大学の中央図書館と同様に、ここでも思い切って学術雑誌を中央図書館で揃えるようにしてはどうかということである。現在、工学部では学科あるいは研究室単位で学術雑誌を購入しているが、他学科あるいは他研究室と重複している雑誌が随分あるように思える。これ

らの雑誌を全て図書館で購入し、さらに他の学術雑誌の新規購入も加えて総合的に図書館で所蔵する。定期的に雑誌が図書館に納入され次第、速やかに雑誌の目次（contents）をPDF形式等で保存し、学内からのパソコンから検索、閲覧およびダウンロードを可能とする。論文の概要（abstracts）についても同様にできるならば一層望ましい。論文そのものについては、Eメール、電話または直接図書館へ出向けば、速やかに論文のコピーを受け取れるようにする。これには、必要とあらば某かの課金をすればよい。雑誌利用者の側からは、これまで有した利便性への犠牲を少しでも抑えるために、ともかくスピーディーに事を運んでいただくことが重要となる。これに対し、図書館側では、雑誌購入費、書架スペース、管理・運営に対する人件費等の問題が出てくるであろう。また、著作権の問題もあるかもしれない。いずれも解決の非常に難しい問題であることは承知の上である。ほんの思い付きではあるが、例えば、著作権に関しては、学内利用あるいは登録者のみ利用というような形式的には限定利用を行えばよいのではないか。また、雑誌購入費用に関しては、現在でも我々は雑誌購入費を支払っているわけであるから、大学レベルでこれらの費用の何割かに相当する額を吸い上げて、図書館での雑誌購入費用に充ててもらえばよいのではないか。その他の問題については、残念ながら私自身具体的にどうすれば良いかよく分からない。国への概算要求、地域社会への寄付、寄贈の積極的要請などは当然として、大学内でも、アルバイト雇用を含めた人員の効果的配置などさらに工夫が必要となろう。しかし、このシステムを導入する方向で協議、検討すれば、これらの問題は解決できるはずであると思っている。

昨今、何となく感じたりしていることの一つを書いてみたが、私は、研究基盤を根本的に損なわない限り、これまでの利便性は多少犠牲にしたとしても、

有効と思われるシステムはチャレンジ精神をもって
 どんどん導入し、大学において広義の意味での運営
 効率を高めて行く努力をすべきと思っている。それ
 が、大学に余力を生み出し、更なる教育・研究基盤、

環境改善を可能とする一つの現実味を帯びた方法で
 はないかと考えている。

(工学部教授 数理力学)

シリーズ：所蔵資料紹介

鳥取藩主池田吉泰書状

岸 本 覚

今回は、二月二十一日付池田^{なかくて}仲央宛池田^{よしやす}吉泰
 書状を紹介します。書かれた時期は、享保元
 (1716)年から享保14(1729)年の間と考えら
 れます。

書状の内容を説明するまえに、この二人につ
 いて簡単に触れておきましょう。送り主の鳥取
 藩主池田吉泰(書中では「因幡少将吉泰」、生
 没1687~1739)は、鳥取藩祖池田光仲から数え
 て三代目の藩主です。宛先の池田仲央(書中
 では「松平豊前守」、生没1692~1753)は東館の
 当主です。東館とは、藩祖光仲隠居のときに別
 家を立て、大名の待遇を得た家で、他に二代藩
 主清綱隠居の際に別家を建てた西館もありま
 す。鳥取藩池田家(三十二万石)は、これら池
 田家本家と東西両館を合わせたものなのです。
 このように両者は、本家と別家のそれぞれの当
 主という立場なのですが、実は兄弟でもあるの
 です。吉泰は、もともとは東館主仲澄の長男で、
 後に本家に養子として入った人物なので、仲央
 とは五つ違いの兄にあたるのです。

それでは、まず、書状の内容を見てみましょ
 う。吉泰が仲央に対し述べたことを簡潔にまと
 めると次のようになります。

『幕府から諸役を命じられ、内外にわたる心
 遣いまことに大儀なことである、しかしこれに
 より本家家臣と東館家臣とのあいだで費用に関
 わる相談を行わなければならない状況になって
 きた、まったく思うとおりにならないものであ
 る、けれどもこのような御用を何度も仰せ付け

られたのは目出度いことである。』

吉泰は、諸役を勤める仲央をねぎらったう
 えで、その財政負担をめぐる藩内の様子を伝えて
 います。この諸役のなかでとくに注目したいの
 が、今月(二月)八日仲央に対し、来月参向す
 る「公家衆御馳走」役が申し渡された点とある
 点です。参向「公家衆」とは、毎年年頭に将軍が
 天皇に年賀の使いを派遣することに対し、その
 答礼として江戸の将軍に年賀を伝えに下向する
 勅使のことです。仲央はその接待役を命じられ
 たのです。「忠臣蔵」でご存知のように、勅使
 接待の馳走役は、元禄14(1701)年3月14日高
 家筆頭^{きらこうすけのすけよしなか}吉良上野介義央に刃傷に及んだ^{あさの}浅野
^{たくみのかみながのり}内匠頭長矩が命じられていた役です。つまり、
 勅使参向は、朝廷とのつながりを重視する幕府
 にとって重要な城中儀礼にあたりますから、勅
 使饗応は当然大切な「御役目」になります。そ
 れゆえ、吉泰はこれを名誉なものと受けとめて
 いたのです。逆に、役を課された大名は、幕府
 の威信を傷つけないよう、勅使に対して慎重な
 対応が求められることとなります。

仲央は、これだけでなくさまざまな諸役を幕
 府から命じられていたようです。もちろん、幕
 府から信用されて諸役を命じられるのはいいの
 ですが、その財政負担は引き受ける大名にか
 かってきます。吉泰と仲央は、喜びと同時に藩
 財政の危機までも背負わなければならなかった
 のです。書状には、さっそく、本家家臣と東館
 家臣との「直談」が始まったことが記されてお

ります。幕府から諸役を命じられていなくても大名は財政難でありましたから、こうした諸役はさらに大名の財政を悪化させていくことになります。

ときはまさに八代将軍吉宗の享保改革の時代です。積み重なる負債に対して、幕府だけでなく諸藩においても財政は危機的な状況に陥り、その解決に向けた政治改革の動きがはじまっていくことになります。江戸時代の「名君」や改

革指導者とは、このなかから登場することになるのです。しかしながら、その改革への取り組みは、時期によっても、あるいは幕府・諸藩それぞれにおいても多様であります。そのなかで、鳥取藩はどのように政治改革に取り組んでいこうとしたのでしょうか。この書状は、藩財政の危機に立ち向かおうとする藩主の考えを、興味深く伝えてくれる貴重な史料なのです。

(教育地域科学部地域社会講座 講師)



本学教官著作寄贈図書

(平成12年9月～平成13年8月受入分)

この度は次のように寄贈していただきました。ありがとうございました。本学教官著作寄贈図書コーナーに配架し、利用に供しています。

(寄贈者名のA B C順。所属等は平成13年9月1日現在)

寄贈者名・所属等	書名	発行所名・発行年
伊東正一 (農学部)	世界の穀物統計：USDA資料 (食糧振興会叢書49)	全国食糧振興会 2001年2月
奥山佳史 (工学部)	制御工学：古典から現代まで (学生のための機械工学シリーズ)	朝倉書店 2001年4月
徳高平蔵 (工学部)	自己組織化マップ：理論・設計・応用	海文堂出版 2001年3月
豊田久 (教育地域科学部)	論集中国古代の文字と文化	汲古書院 1999年8月

ミニ・ピックアップ

ホームページからも 図書購入依頼と文献複写依頼ができます。

6月より図書購入依頼と文献複写依頼が、ホームページからオンラインでできるようになりました。すでに多数の教官の方にご利用いただいておりますが、まだの方は下記の手続きを行いご利用ください。

なお、従来の方式(「図書購入依頼書」(3枚綴)・「学外宛文献複写依頼書」)の各係への提出、学内便)でも受け付けております。

利用条件

1. 利用できる方は、三浦地区または乾燥地研究センターの教官です。
2. 校費支弁のものに限ります。

手続き方法

1. 利用される場合は、事前に「オンライン図書購入依頼・文献複写依頼申請書」に記入捺印の上、附属図書館情報サービス課学術情報係(1階)に提出してください。申請

書用紙は学術情報係にあります。ホームページにもPDF形式を用意しておりますので、それを印刷して申請していただいても結構です。

2. 申請を受理しましたら利用ID・パスワードをお知らせいたしますので、それぞれを依頼する際に入力してください。

利用方法

1. 附属図書館ホームページからご利用ください。アドレスは <http://www.lib.tottori-u.ac.jp> です。
2. 入力方法等詳細はホームページをご覧ください。

*お問い合わせは学術情報係(内線7060)または図書情報係(7040)にお願いします。

図書購入依頼画面

A screenshot of a web browser displaying a form for library purchase requests. The form includes fields for user information, request details, and a submission button.

文献複写依頼画面

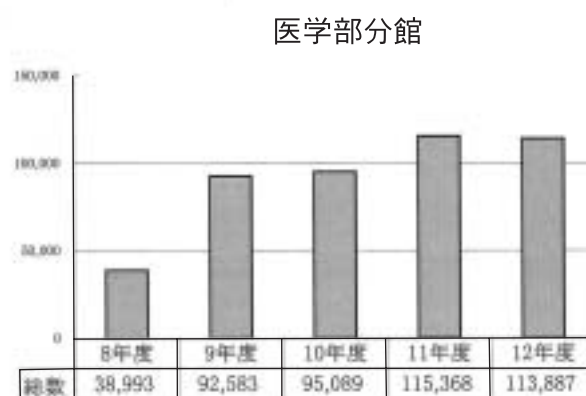
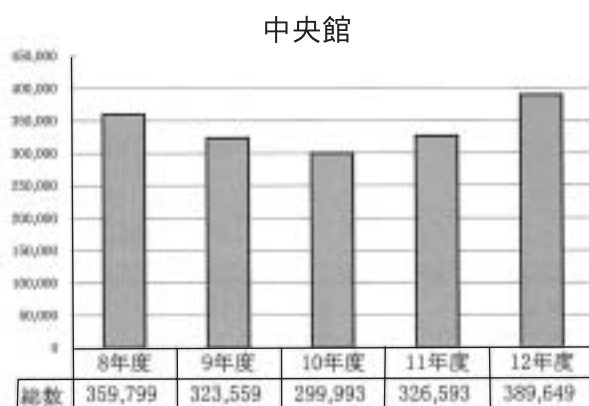
A screenshot of a web browser displaying a form for document reproduction requests. The form includes fields for user information, request details, and a submission button.

附属図書館利用状況

年度別開館日数

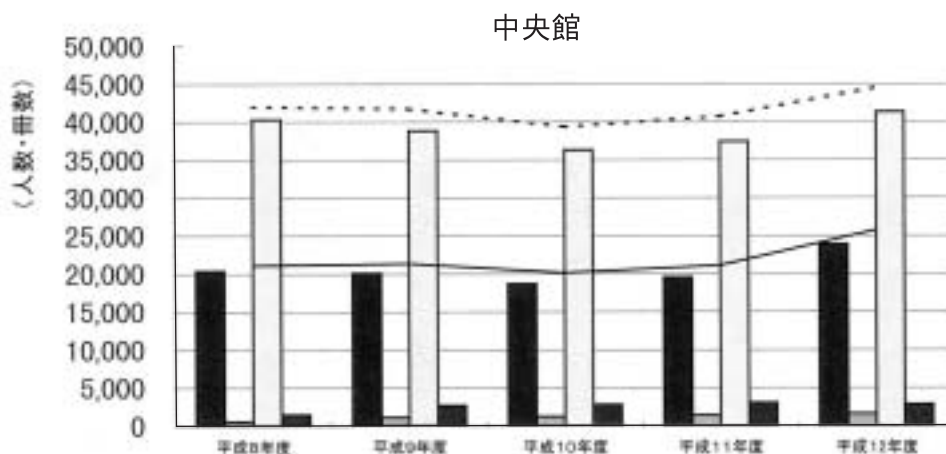
	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
中央館	263日	269日	270日	298日	308日
医学部分館	276日	276日	277日	316日	323日

年度別入館者数

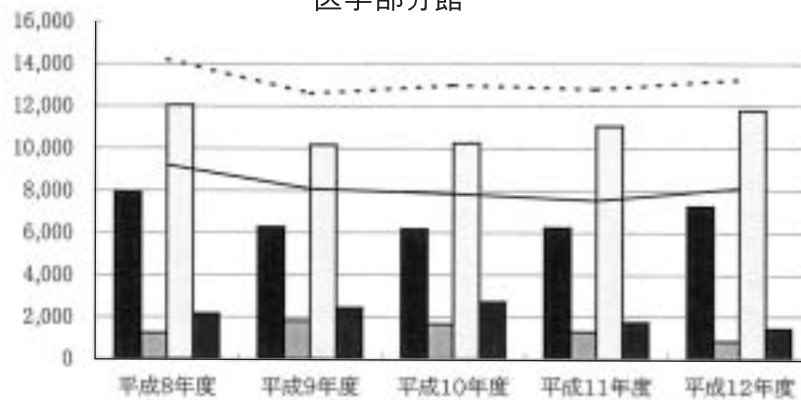


年度別貸出者数・冊数

貸出者数(学生)
 貸出者数(教官)
 貸出冊数(学生)
 貸出冊数(教官)
 貸出者数合計
 貸出冊数合計



医学部分館

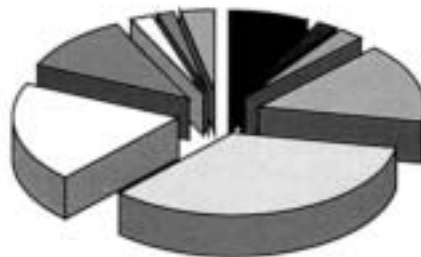


平成12年度分類別貸出冊数

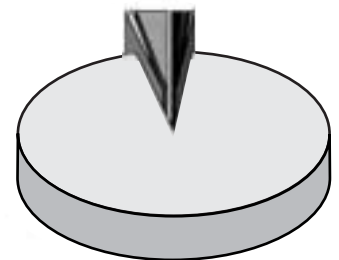
分類	貸出冊数	
	中央館	医学部分館
総数	44,529	13,267
0 総記	3,492	57
1 哲学	857	113
2 歴史	1,110	3
3 社会科学	6,972	76
4 自然科学	15,160	12,521
5 工学	8,807	22
6 産業	4,944	2
7 芸術	1,003	59
8 語学	741	8
9 文学	1,443	406



中央館

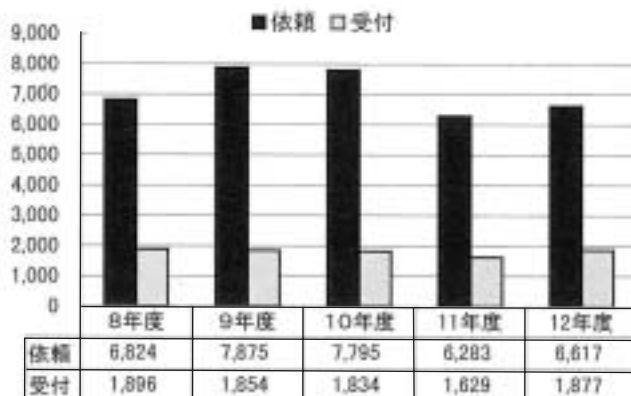


医学部分館

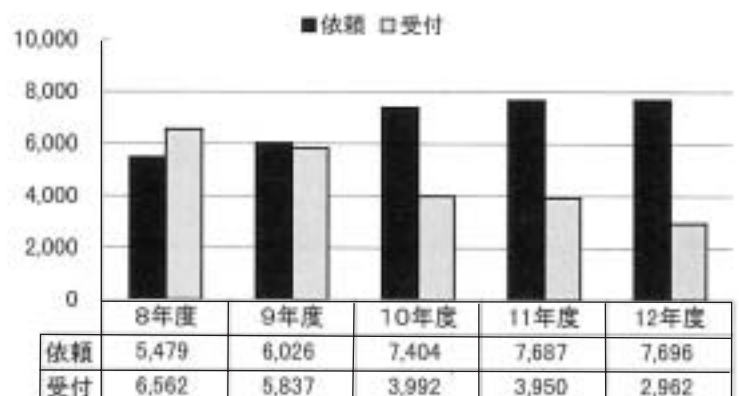


文献複写学外依頼・受付件数

中央館



医学部分館



ミニシリーズ・情報検索コーナーより その11

SwetScan 始めました。

SwetScan (スエッツスキャン) は、オランダのスエッツ社が提供する、雑誌目次データ提供システムです。雑誌目次情報だけでなく、電子ジャーナルや OPAC へのリンク(予定)などの優れた機能を備えています。収録雑誌数は14,522誌(2001年7月現在)で、現在2000年発行分のみ検索可能です。

今回は、この SwetScan の使い方を説明します。

鳥取大学附属図書館のホームページ左側の“SwetScan”をクリックすると、検索画面が表示されます。



この画面から、【リスト検索】と【キーワード検索】ができます。

【リスト検索】雑誌・論文の分野別リストや、雑誌・出版者のアルファベット順リストの中から選択して検索する方法です。ここでは、雑誌の分野別の検索について説明します。

“Subject(Journal)”をチェックし、検索ボタンをクリックします。雑誌の分野のリストが表示されます。



検索したい分野を選択すると、その分野の雑誌名のリストの画面になります。該当する雑誌をクリックすると、巻号が表示されます。



該当する巻号をクリックすると、その巻号の目次(論文名・著者名)が表示されます。ページを知りたい場合は“詳細表示”をクリックしてください。



【キーワード検索】雑誌名や論文名、著者名などに含まれるキーワードから検索する方法です。検索したい項目にチェックを入れ、検索欄にキーワードを入力します。

- ・単語をスペースで区切ると AND 検索となります。
- ・“*”をキーワードの後ろに付けると前方一致検索が行えます。
- ・雑誌名の第一単語を指定する場合には、キーワードの頭に“^”を付けます。
例) ^Journal : Journal で始まる誌名リストが作成。
- ・著者名検索では、姓名の区切りの指定は、“ ,_ ”(コンマと下線)を使うことで完全一致検索と

なります。

例) yamada_hiroshi : Yamada, Hiroshi を著者に持つ論文リストが作成。
検索の手順はリスト検索と同様です。

以上簡単な説明でしたが、この他にもいろいろ便利な使い方がありますので、ぜひ利用してみてください。利用方法などに関してわからないことがありましたら、遠慮なく係員にお尋ねください。



平成12年度 日本紹介コーナー図書について

平成12年度は、留学生用図書購入費で計44点の資料を購入しましたので紹介します。
なお、選定には教育地域科学部の谷守先生、工学部の大木先生、農学部の松村先生のご協力を得ました。
ここに改めてお礼申し上げます。

著(編)者名	書名・発行年
柴谷方良編	STUDIES IN JAPANESE LINGUISTICS 1991 ~ 3 THE SYNTAX OF 'SUBJECTS' 4 THEORY OF PROJECTION IN SYNTAX 5 A STUDY OF JAPANESE CLAUSE LINKAGE 6 ACQUISITION OF JAPANESE EMPTY CATEGORIES 7 COMPLEX PREDICATES IN JAPANESE 8 ACQUISITION OF CASE MARKING AND ARGUMENT STRUCTURES IN JAPANESE 9 SYNTACTIC CATEGORIES IN JAPANESE : A Cofnitive and Typological Introduction 10 The Sound-Symbolic System of Japanese 11 LI Japanese Attrition and Regaining
アークアカデミー(梅田校)編	合格水準 日本語教育能力検定試験問題集 - 聴解編 - (テープ) 1998
宮地裕編	慣用句の意味と用法 1982
山崎信寿 他	理工学を学ぶ人のための科学技術日本語案内 1992
東海大学留学生教育センター	日本語口頭発表と討論の技術 : コミュニケーション・スピーチ・ディベートのために 1995
大屋文正	留学生の数学I 1991
大屋文正	留学生の数学II 1993
中村誠太郎 他	留学生の物理学 1989
講談社インターナショナル	英語で話す「日本」Q & A (テープ) 1996
講談社インターナショナル	英語で折り紙 1996
講談社インターナショナル	英語で読む日本史 1996
丸山敬介 他	教え方の基本 1995
中村良廣	日本語教育のためのC & I 入門 1992
岡倉天心	茶の本(The Book of Tea) 1998

佐々木瑞枝	朝から晩まで日本語・英語 1995
三浦 昭	“ English ” in Japanese 1984
リー・ハウエル	英語で話す「アメリカの謎」 1999
アーサー・F・レネハン	英語で「ちょっといい話」 1999
板坂 元	Gates to Japan 1994
水野潤一	あなたも名ガイド 1986
リージャー・プロズナハン	しぐさの比較文化 日本語版 1988
リージャー・プロズナハン	しぐさの比較文化 英語版 1990
牧野成一 他	日常日本語バイリンガル辞典 1999
縫部義憲	日本語授業学入門 1994
羽鳥玲子	韓国人が間違いやすい日本語 1999
宮前一廣	日英比較前置詞の文法 1998
グループ PTI	日本語教育能力検定試験・試験問題研究 (H7年度) 1996
アルク日本語出版編集部	2001年度版日本語教育能力検定試験合格するための本 2000
H.Nakajima&Tonoike	Topics in Small Clauses 1991
(財)アジア学生文化協会	外国人留学生のための大学院入学案内(最新版)
本名信行	アジアの英語 1990
S.Ide&N.H.McGloin 編	Aspects of Japanese Women's Language
松本節子 他	実力アップ! <初級総仕上げ> 日本語能力試験 3級 (カセット+ブック)
松本節子 他	実力アップ! <初級総仕上げ> 日本語能力試験 2級 (カセット+ブック)
松本節子 他	実力アップ! <初級総仕上げ> 日本語能力試験 1級 (カセット+ブック)
松本節子 他	実力アップ! 日本語能力試験 1・2級対策文法・語彙編 (カセット+ブック)

《平成12年度中小コレクションの紹介》

平成12年度は、各部局から購入希望のあった次のものを購入しました。

すでに整理を終え、【 】内の場所に配架していますので是非ご利用ください。

Encyclopedia of analytical Chemistry 全15巻 Wiley 刊	【1階第1閲覧室 433.033:Enc】
化学物質毒性ハンドブック 全6巻 丸善刊	【1階第1閲覧室 491.59:Kag】
月刊獣医学ビデオ B: 臨床ビデオシリーズ B1~B42 インターズー刊	【視聴覚室】
英国オープンユニバーシティビデオ教材S328: 生態学 コーステキスト全5冊、ビデオ全7巻(英語版) ジェムコ出版刊	【視聴覚室】

鳥取大学附属図書館報 第98号 (2001年10月発行)

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680-8554 鳥取市湖山南4丁目101 ☎0857-31-6727

ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>